

	佐賀大学 理学分野
学部等の教育研究 組織の名称	理工学部（第1年次:490 第3年次:20） 大学院工学系研究科（M:184 D:24）
沿 革	<p>大正9（1920）年 佐賀高等学校創立</p> <p>昭和24（1949）年 佐賀大学文理学部設置</p> <p>昭和41（1966）年 理工学部設置（改組）</p> <p>昭和50（1975）年 大学院工学研究科修士課程設置</p> <p>昭和51（1976）年 理工学部理学専攻科設置</p> <p>昭和58（1983）年 大学院工学研究科を大学院理工学研究科に改称</p> <p>平成3（1991）年 大学院理工学研究科修士課程を改組し、大学院工学系研究科博士前期課程・後期課程を設置</p> <p>平成22（2010）年 大学院工学系研究科博士前期課程・後期課程再編（改組）</p>
設置目的等	<p>佐賀大学理工学部・工学系研究科の母体である佐賀大学文理学部は、広く教養的知識を授けると共に深く人文科学、社会科学、自然科学、農学に関する専門の学芸を教授研究し、知的道徳的及び応用的能力を有する人材を養成することを目的として昭和24年に設置された。</p> <p>昭和41年、佐賀県は近代産業遺産群跡に見られるように、近代産業の発祥の地であり、経済発展の源は産業の振興にあると先見し、多数の技術者の人材需要への対応という要望に応じ、また、県内高等学校卒業生の地元大学への進路を開拓するため、文理学部を改組し経済学部及び教養部とともに理工学部を設置した。</p> <p>昭和58年、工学研究科修士課程（昭和50年設置）を改組し、数学専攻、物理学専攻、化学専攻を加えた理工学研究科修士課程が設置され、理工融合の高度な教育研究を行う礎が築かれた。</p> <p>平成3年、理工融合の研究及び教育理念に基づいた創造力と実践力を備えた国際性豊かな高度専門技術者や研究者を養成する目的で、理工学研究科を改組し工学系研究科（博士前期課程・後期課程）を設置した。</p> <p>平成22年、人間と環境に優しい社会の構築を目指して社会や地域の持続的発展に貢献できる人材の育成を目的に工学系研究科博士前期課程を、また豊かな人間性と幅広い視野、深い専門的知識・能力、創造性に優れた研究・開発能力をもった人材の育成を目的に、工学系研</p>

	<p>究科博士後期課程を改組するとともに工学系研究科に教員組織を置いた。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>佐賀大学は、佐賀県をはじめとする周辺地域の理学系高等教育機関として、知的探究心に基づき自然界の普遍的真理を追究するとともに、未来を担う若者に数学・物理・化学・情報科学を教授することを通じて、社会の発展や文化の進展に貢献することを目指して教育、研究、社会貢献に取り組んでおり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幅広い教養、科学の基礎となる理論体系、論理的方法論等を身につける教育を展開し、技術の進歩に柔軟に対応できる高度な専門人材の育成とともに、理工が融合したコース制の下で高度な研究能力を有する先導的な人材育成の役割を果たす。 ○ 理工融合が進んだ情報及び化学における工学分野において国際的通用性のある認定プログラムを積極的に推進してきた実績を生かし、理学分野でも応用に強い人材を育成するための教育改革を進め、アクティブラーニング等を理学分野全体に導入することで学生の主体的かつ能動的学習を促進する。 ○ 素粒子物理学において、世界トップクラスの研究実績を生かし、今後も高エネルギー実験と宇宙論を含む広範囲の素粒子理論に関する先端的な研究を推進する。 これらの研究と並び、革新的機能材料及びナノ材料において世界的に評価された研究の実績を生かし、物性物理学と材料科学を融合した研究を進め、我が国の物性科学の発展に寄与する。 ○ 全学的に取り組んでいるエコアクション21活動において中核的な役割を担い、また佐賀環境フォーラムの活動をけん引してきた実績を生かし、地域の環境教育を充実させていく。 ○ 大学院博士前期・後期課程における長期履修制度の設置、博士後期課程における社会人・留学生対象の複数回のAO入試を導入した。この環境を生かして、社会人を積極的に受け入れる。 ○ 佐賀県をはじめとする周辺地域においてサイエンスカフェなど市民に対する教養講座を通じて、最新の物理学事情を浸透させ、小中高生に対してロマンを提供するなどの学術の進展や地域の理

	<p>学に関する知識社会化の推進に一層積極的に取り組む。</p> <p>佐賀県内の小学生から大学生までが参加する「佐賀県理科・化学教育研究発表会」を主催し、理科と化学の教育の活性化を図る。</p> <p>教員免許更新講習及び佐賀県高等学校理科教育研究大会への協力により、教員に最新の知識を教授する役割を果たす。</p>
--	---